



# 上尾ロータリークラブ

2023-2024年度R.I.テーマ



世界に希望を生み出そう

第2992回 例会  
2023. 11. 16

会長あいさつ



2023-2024年度 長沼 大策 会長

週報 No.2240  
発行 2023年 11月 30日

2023-2024年度  
会長 長沼 大策  
幹事 坂本 忠光  
副会長 門崎 由幸  
副幹事 小田切宏治  
編集責任者・公共イメージ向上委員会  
委員長 尾花 正明

行事予定

- 12月7日 卓話 尾花智仁様  
テーマ「社会におけるeスポーツの価値」
- 12月14日 卓話 山根大幸様  
テーマ「花巻東高校で培ったもの」
- 12月21日 年次総会  
次年度役員発表  
クリスマス例会  
於：ステラ・テル・アンジェロ  
(例会場・時間変更)
- 12月28日 定款の規定により  
休会

皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきありがとうございます。細野会員の卓話を控えておりますので、報告を短くお伝えします。10月14日(土)、市制施行65周年記念式典が行われ、表彰状をいただきました。前半に市長と島村会頭によるごあいさつや来賓の祝辞があり、後半にアトラクションという式次第で、会場にいた半数くらいが前半だけ見てお帰りになっていたようでした。後半をご覧になっていない方がいると思いますのでご紹介すると、まずお笑いタレント・ハライチさんのお祝いコメントが動画で放映されました。次に観世流能楽師 梅若泰志さんの祝いの舞が披露されました。圧巻だったのは桶太鼓の第一人者である林田ひろゆきさんによる太鼓演奏です。太鼓の振動がピンピン伝わってくる大迫力の演奏で、聴けて良かったなと思いました。この式典の手土産には、8月に社会奉仕で支援をしたNPO法人グローブさんのジャムが入っていました。

続いて10月28日(土)、丸山公園バーベキュー場で野外例会「芋煮会」を開催し、参加いただいた方々から大好評でした。企画した山崎親睦活動委員長の尽力の賜物ともいえる素晴らしい例会でした。当日朝、激しい雷雨に見舞われ判断に迷ったのですが、開催してみると太陽が覗き曇りには汗ばむほどの陽気になり、野外でいただくビールは格別でした。山崎委員長が仕込んでくれた鍋も余すことなく頂き、青空の下、いっそう親睦を深めることができたと思います。次年度以降も野外例会を続けていただけたらいいなと思いました。

11月11日(土)・12日(日)は地区大会が開催されました。大会テーマに「Enjoy Rotary」と掲げられていたが楽しんでいただけましたでしょうか。私は第5グループの合同奉仕を動画に編集し、ステージに上がりました。IMの時にまた放映していただけたらいいなと思います。懇親会はレイボックホールの小ホールで行われたのですが、思いのほか大勢の方が残って室内は満員でした。お料理やドリンクがとりづらく、ご迷惑をおかけした方々には申し訳ありませんでした。その後、上尾ナイトではありませんが大宮で二次会を行いました。その場にいらした方々のことは一生忘れません。本日もどうぞよろしくお願いたします。



幹事報告

坂本 忠光 幹事

◇11月のロータリーレートは1ドル=149円です。  
◇シンガポール国際大会のRI第2770地区ガバナーナイトの案内が届いています。ガバナーナイトは5月25日に行われ、登録及び振込の締め切りが12月20日までとなります。参加する方は幹事宛にお知らせください。  
◇来週11月23日は勤労感謝の日で、定款の規定により休会となります。



ショートスピーチ

丹井 亮一 会員

私のスピーチは1つ、我が家のワンちゃんのことしかありません。我が家のゴールデンレトリバーは日本警察犬協会の競技会に出場しています。11歳の子はなかなかいい訓練士さんに当たらずに脱走ばかりしています。2歳の子は1歳の時、昨年の全国大会に初出場して3位(チャンピオンリザーブ)グループに入りました。3位になると日本選別訓練チャンピオンRというガウンが貰えます。今年は10月に霧ヶ峰で全国大会が行われ、大雨の中の開催だったため、犬のやる気がなくてダメでした。

大会でどんなことをするかというと、臭気選別競技会と言って5枚の布から匂いを嗅ぎわける競技です。全国で大会が行われていて、2歳の子は桜花賞で優勝、城北訓練王座賞決定競技会も優勝しました。中部日本訓練チャンピオン決定競技会では第2位、先日行われた茨城の訓練チャンピオン大会でも2位に入りました。訓練士の先生方からは「この子は将来有望だよ」と言われています。霧ヶ峰の全国大会で1位・2位に入ると、その犬のオーナーさんはホテルでパーティーを開くのが通例となっています。そこまで行くのを夢に見ながら、今後も続けていきたいです。



例会主題

自分史について

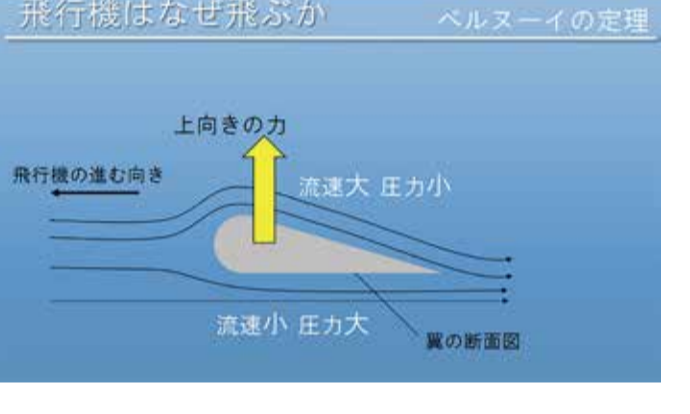
細野 宏道 会員

関口プログラム委員長から卓話の依頼をお引き受けて卓話をさせていただきます。

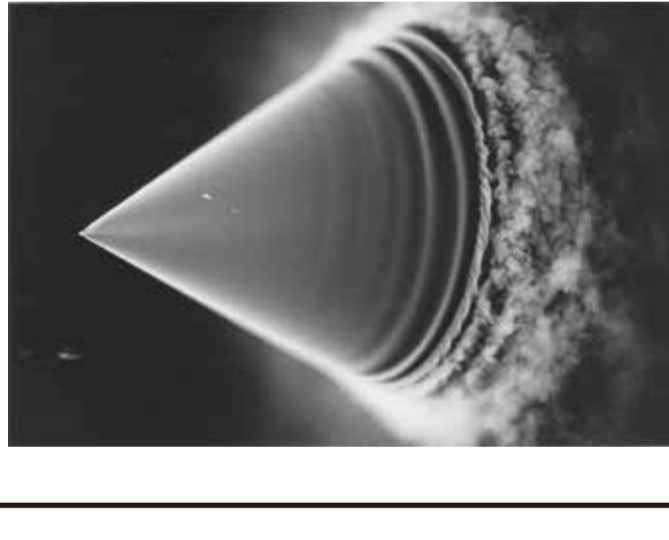


私は69歳になりました。昭和29年に東京で生まれ、大学院を卒業し昭和55年(1980年)に硝子会社に入社しました。大学へ入学した頃は第一次オイルショックがあった時代でした。大学時代はユミンを聴きまくり、一方でグラムロック(ヘビーロック)を聴きまくってしていました。そして就職しました。硝子会社の研究所に7年ほど在籍し、その後、昭和62年(1987年)に法律事務所に入社しました。時代背景では1985年にプラザ合意が行われ、それまで1ドル=240円だったのが200円を切り、1986年には160円台まで行って、すなわち日本経済が上がっていった中高になっていきました。2023年のいま1ドル=149円になっていますが、同じくらいのレートでも、世の中で日本が置かれている状況はだいぶ違っているのかなあと考えています。そして自分の会社に1995年に入社し、2000年に上尾ロータリークラブに入会しました。上尾北RCさんができるタイミングで、上尾RCに在籍していた父が上尾北RCのチャーターメンバーになるということで、私が入会し、2009年に第47代目の会長を務めさせていただきました。

あらためて今日は、流体力学の話、硝子の話、特許の話、FPの話をしていただこうと思います。流体力学では流線上でエネルギーが保存されることを示した「ベルヌーイの定理」という定理があり、



飛行機がなぜ飛ぶのかというのと同じことなのですが、運動エネルギーと圧力エネルギー・位置エネルギーを足すと常に一定ですという定理で、飛行機の羽は進行方向に対して、翼の上側の流速が大きく・圧力が小さくなるため上向きの力が働き、揚力で飛行機は上に飛ぶこととなります。私は中学生の時にテニスをしていました。テニスではネットを超えたボールを相手のコートに入れなければならぬため、トップスピンをかけて下向きに落とします。中学の時はなぜボールが落ちるか理由がわからないながらも、回転をかけまくり、県大会で準優勝をしました。一方で1969年にアポロ11号が月に行きました。その時のロケットのニュースがずっと頭に残っていて、ある時にテニスのトップスピんとつながって、流体力学に興味を持ちました。サッカーでは無回転のブレ球、野球ではナックルボール、卓球などでも、回転をかけないと玉がブレる現象がおきます。ブレ球は流体力学で「カルマン渦」というのですが、ボールの後方に不規則な空気の流れができ、ボールのちよとした凹凸により、左右・上下どこに行くかわからない予測が難しい球になります。大学院時代には「境界層の遷移」を研究していました。円錐形(ロケットの先端)の先から空気が流れ回転していて、初めのうちはきれいに空気が流れていたのが、途中から乱れていく様子をハイスピードカメラで可視化していました。この実験では少し危険な薬剤を使い、それが目に入って失明する危機に瀕したこともありました。ロケットの先端の研究で、大学院の近くにあった宇宙開発事業団の研究所と協同研究も行ったので、JAXA(ジャクサ)に行くのかなと思った時代もあったのですが、その頃、JAXAは種子島にしかなかったのが断念して硝子会社に入社しました。



次の話題に移ります。硝子会社ではビルの外側についている熱線吸収板ガラス、熱線反射ガラス、歪みがまったくないガラスなどの研究を行っていました。その研究の内容ではなく、ガラスがどのようにして出来るかお話ししたいと思います。ガラスと言うのは窯業土石業(ようぎょうどせきぎょう)なんです。ガラスの原材料は珪砂で、ガラスカレットを重油バーナーにより最高温度約1600℃で溶かすんです。初めに原材料を投入するのは幅が5~10m、長さ20~30mもある煉瓦を積んだ窯です。窯の中で溶かされたガラスは液体状態で、その後、溶けたガラスはフロートバスというところで溶けた錫の上に流れ、真っ平になるんですね。750℃くらいで形成されたガラスは600℃くらいになると硬くなっていきます。徐冷炉で冷やされたガラスは洗浄検査・切断されて出荷となります。ここまでの工程を一直線に並べると700mくらいになります。だからガラス工場は辺鄙な場所にあり、また重油を使うと巨大な装置が必要になるので、ガラス会社という旭硝子、日本板硝子、セントラル硝子の三社による寡占企業になります。その他の小さな硝子会社は三社からガラスを買ってきて瓶などいろいろな形に加工します。ガラス工場は巨大な流れになっているので24時間・三交代制で働きます。また一度火をつけたら15年間は火を止めません。私は研究者でしたが、1600℃の炉の近くに行く際、当時は頭からつま先まで石綿で作ったガウンを着ました。今考えたらとても見話ですね。そんな硝子会社とは特許について見話です。

次に私は特許法律事務所に入社しました。そこでは法律のことと特許のことをやっていました。特許の明細書を書いていたのですが、ここで知的財産権についてお話しさせていただきます。産業財産権には特許権、実用新案権、意匠権、商標権があります。権利の存続期間について、特許は出願から20年、実用新案は出願から10年、意匠は出願から25年、商標は出願から10年です。特許権取得の道筋ですが、体裁が整っていれば特許出願になります。1年半後に特許公開になって、公開特許公報というものが自動的に出されます。ここではなんの権利にもなっていないのですが「特許公開されました」と言えるんですね。「特許公開されました」というと凄いなと思えそうですが、実はまだなんにも凄くないんですね。出願から3年以内に審査請求をして、特許庁と

審査を繰り返して、特許査定(または拒絶査定)となります。特許査定され、特許料を納付すると設定登録され、登録特許公報が出て、権利が認められます。特許には独占権があるので、誰かが特許をとると他の人は使えなくなります。もしも皆さんがお仕事上で特許のことがでてきたら、取得の道筋をおさえておいた方がいいのかなと思います。そして特許を取得するにあたり、特許庁への出費は印紙代で20~30万円ほどですが、法律事務所の先生方をお願いをして審査のやりとりをお願いすると、だいたい1件100万円が予算として必要になります。ただし、先生方に頼まず個人で申請することも可能です。

最後に私は中妻に住んで体協、自治会、自警消防団等をやっているライフプランについて相談を受けることが多いのでファイナンシャルプランナーという資格を取りました。次回、もしも機会がありましたら5回入院したお話を披露したいと思います。本日はありがとうございました。



スマイル

細野会員  
卓話いただきありがとうございました。

出席率	
会員数	34
出席免除	5
出席対象者	29
出席者数	19
65.52%	

地区大会が開催されました。

国際ロータリー第2770地区 2023-2024年度 地区大会 2日目が開催されました。15時30分頃から12グループ活動報告並びに参加クラブ紹介が行われ、長沼会長が編集した動画が放映されました。

第2991回例会 2023.11.12

於：レイボックホール(市民会館おのみや)  
またレイボックホール(小ホール)で大懇親会が開催され、大抽選会で会場内は熱気に包まれました。上尾メンバーは大宮駅東口・お多幸で二次会を行いました。ご参加いただいた皆さま、お疲れ様でした。



例会日 毎週木曜日 12:30~13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303  
例会場 上尾東武ホテル3F(コミュニティホール) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799

